

市の財政状況をお知らせします

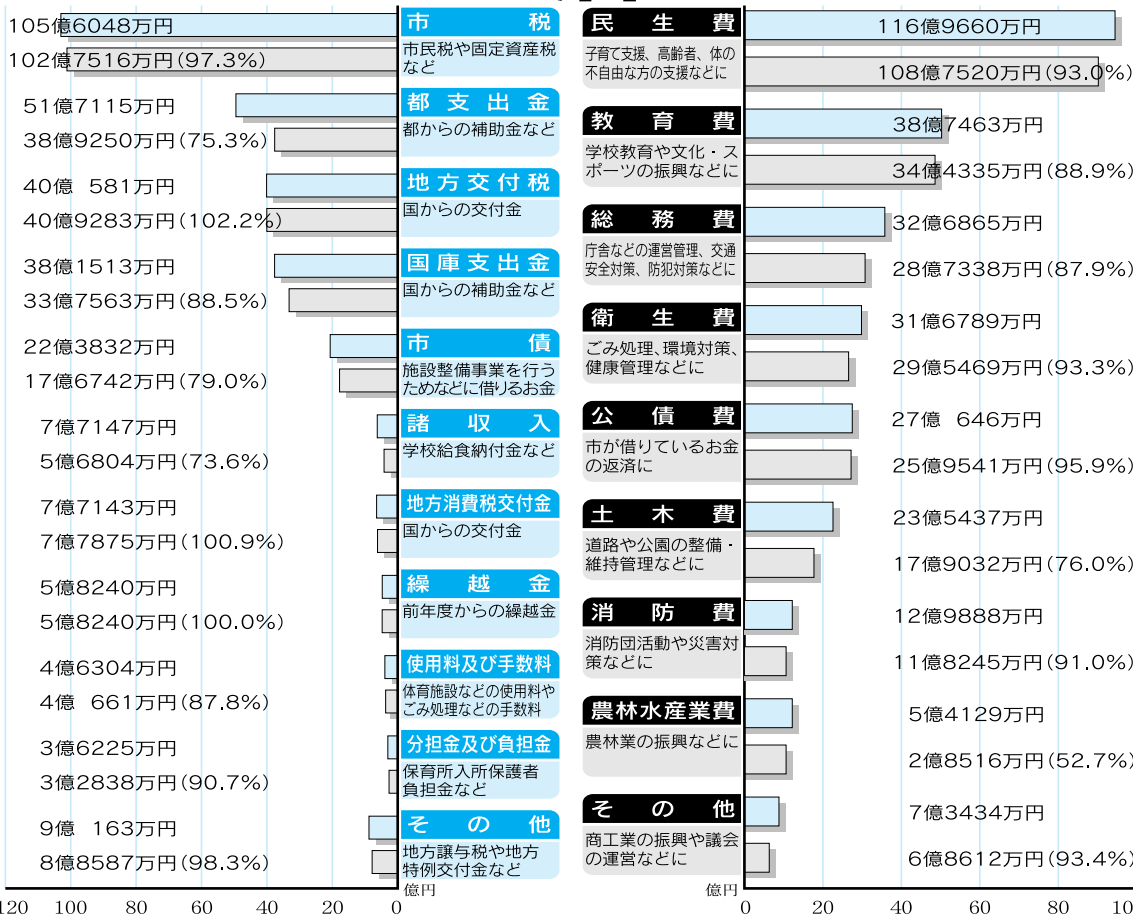
平成24年3月31日現在

表 1 会計別予算執行状況

平成24年3月31日現在

区 分	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般会計	296億4311万円	269億5359万円	90.9%	266億8608万円	90.0%
特別会計	174億 216万円	169億 180万円	97.1%	156億8114万円	90.1%
国民健康保険	87億6805万円	86億1578万円	98.3%	80億7413万円	92.1%
後期高齢者医療	13億4448万円	13億4936万円	100.4%	13億 699万円	97.2%
介護保険	41億6631万円	40億4464万円	97.1%	37億5402万円	90.1%
戸倉財産区	1400万円	1569万円	112.1%	540万円	38.6%
下水道事業	30億2205万円	28億 944万円	93.0%	24億9864万円	82.7%
テレビ共同受信事業	8727万円	6689万円	76.6%	4196万円	48.1%
合 計	470億4527万円	438億5539万円	93.2%	423億6722万円	90.1%

入ってきたお金 (歳入)		使ったお金 (歳出)	
予算現額	296億4311万円	予算現額	296億4311万円
収入済額	269億5359万円 (収入率 90.9%)	支出済額	266億8608万円 (執行率 90.0%)



平成23年度の一般会計は、当初予算後に5回の補正を行い、前年度からの繰越明許費1億6614万円を含めて、予算総額は、296億4311万円となっています。平成24年3月31日現在の収入済額は、269億5359万円で、収入率は90.9%となっています。また、支出済額は266億8608万円で、執行率は90.0%となっています。

市税収入の状況

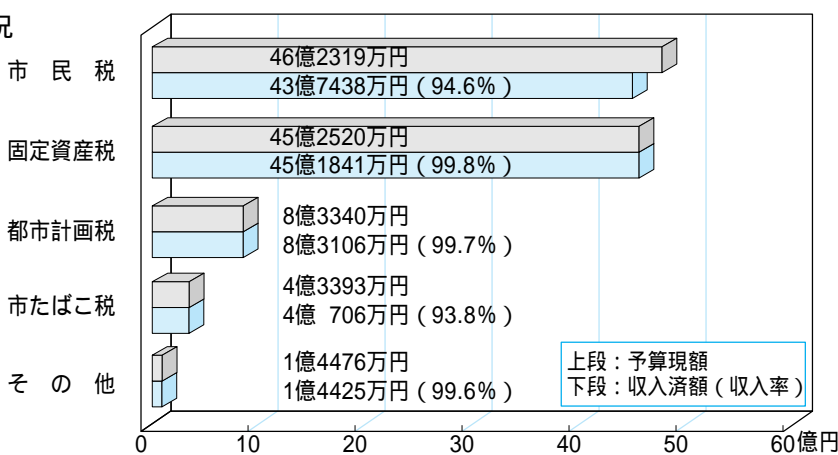


表 2 市債現在高の状況

平成24年3月31日現在

市債の目的	市債の現在高
教育債 (学校や図書館などの整備のために)	44億4703万円
衛生債 (保健センターなどの整備のために)	32億 627万円
土木債 (道路や水路などの整備のために)	22億7243万円
総務債 (庁舎などの整備のために)	20億5786万円
商工債 (観光施設などの整備のために)	14億 346万円
消防債 (消防施設の整備のために)	1億5236万円
民生債 (児童館などの整備のために)	1億2079万円
その他 (臨時財政対策債 ¹ 、減税補てん債 ² など)	118億7148万円
計	255億3168万円
下水道事業特別会計 (下水道の整備のために)	249億7009万円
合 計	505億 177万円

¹臨時財政対策債とは、国から地方公共団体に分配する地方交付税が足りないため、その不足する金額の一部を借り入れる市債で、その元利償還金は後年度に地方交付税として措置されます。
²減税補てん債とは、国の減税政策による個人住民税などの減収を埋めるために借り入れる市債で、その元利償還金は後年度に地方交付税として措置されます。

市の財政は、皆さんに納めていただいた市税のほか、国や都からの補助金などから成り立っています。そして、そのお金は、福祉、教育、まちづくりなど、皆さんの暮らしに深くかかわりを持つさまざまな分野に使われています。

今回お知らせするのは、平成24年3月31日現在における平成23年度の一般会計と六つの特別会計の予算の執行状況(表1)、市の財産、借入金などの概要です。予算を整理する出納整理期間(平成24年4月1日から5月31日まで)を含めた平成23年度の決算状況は、あらためて広報でお知らせします。

市債現在高の状況
 長期間にわたって多くの方々が利用する公共施設の整備には、一度に多くのお金が必要となるため、国や都の同意を得て、国、都、銀行などからお金を借りています。これを市債といいますが、市債の活用により、現在施設を利用している方だけではなく、これから利用する世代の方々にも負担をいただくことで、世代間の負担の公平を図っています(表2のとおり)。

市有財産の状況
 土地面積(学校敷地など)：594万5244平方メートル
 建物面積(庁舎など)：19万1809平方メートル

一時借入金
 市の会計は、予算があっても現金が一時的に不足することがあります。このため、年度内の返済を条件に銀行などから一時的に借りたお金が一時借入金です。3月31日現在、下水道事業特別会計で2億円の借入れがあります。

基金の状況
 基金とは、今後の支出に備えて特定の目的ごとに積み立てている資金です。3月31日現在の基金の現在高は、18基金で28億3781万円となっています。

「国民健康保険」
 主な収入済額は、国民健康保険税、社会保険診療報酬支払基金からの交付金(40歳以上64歳以下の方)です。

「介護保険」
 主な収入済額は、国・都の支出金、社会保険診療報酬支払基金からの交付金(40歳以上64歳以下の方)です。

「後期高齢者医療」
 主な収入済額は、一般会計からの繰入金と保険料です。主な支出済額は、東京の被保険者数は、8687人です。

「戸倉財産区」
 主な収入済額は、繰越金と会館使用料です。主な支出済額は、森林の保育管理経費です。

「テレビ共同受信事業」
 主な収入済額は、受信施設整備基金繰入金と加入者分担金です。主な支出済額は、整備基金積立金、受信施設に係る整備事業費と維持管理委託料です。

そこで、どのようなお金が入ってきて何に使われているのかなどをお知らせするため、年に2回財政状況を公表しています。

市債現在高の状況
 長期間にわたって多くの方々が利用する公共施設の整備には、一度に多くのお金が必要となるため、国や都の同意を得て、国、都、銀行などからお金を借りています。これを市債といいますが、市債の活用により、現在施設を利用している方だけではなく、これから利用する世代の方々にも負担をいただくことで、世代間の負担の公平を図っています(表2のとおり)。

一時借入金
 市の会計は、予算があっても現金が一時的に不足することがあります。このため、年度内の返済を条件に銀行などから一時的に借りたお金が一時借入金です。3月31日現在、下水道事業特別会計で2億円の借入れがあります。

基金の状況
 基金とは、今後の支出に備えて特定の目的ごとに積み立てている資金です。3月31日現在の基金の現在高は、18基金で28億3781万円となっています。

「国民健康保険」
 主な収入済額は、国民健康保険税、社会保険診療報酬支払基金からの交付金(40歳以上64歳以下の方)です。

「介護保険」
 主な収入済額は、国・都の支出金、社会保険診療報酬支払基金からの交付金(40歳以上64歳以下の方)です。

「後期高齢者医療」
 主な収入済額は、一般会計からの繰入金と保険料です。主な支出済額は、東京の被保険者数は、8687人です。

「戸倉財産区」
 主な収入済額は、繰越金と会館使用料です。主な支出済額は、森林の保育管理経費です。

「テレビ共同受信事業」
 主な収入済額は、受信施設整備基金繰入金と加入者分担金です。主な支出済額は、整備基金積立金、受信施設に係る整備事業費と維持管理委託料です。

問合せ 財政課